

「NOSAIおおいた」は、大分県農業を支える農業共済組合です

NOSAIおおいた広報紙「きらり」

vol.14

2017年

1



特集
災害に学ぶ
新年のごあいさつ
大分県防災対策室より
組合長理事 阿部 順治



安心のネットワーク

NOSAI



災害に学ぶ

大分県を襲った「平成28年熊本地震」、県内では住宅等を中心に大きな被害に見舞われ、また、全国では10月に「鳥取県中部の地震」が発生し、11月の福島県沖の地震では津波警報が発令されました。自然の脅威を経験した今、今後発生すると予測される南海トラフの巨大地震に備え、あらためて防災・減災意識を高めましょう。

このたび発生した「平成28年熊本地震」の被害状況と大分県の取り組み、また南海トラフ地震の被害予測について、**大分県生活環境部防災局防災対策室**の田邊室長にお話を伺いました。

地震の県内被害状況はどうなっていますか？

今回の地震では人的被害では、重傷者11人、軽傷者22人、幸いにも死者は発生しませんでした。直下型の地震ということもあり、揺れの激しかった別府市、由布市を中心に住家、非住家含め住宅被害が多く発生しています。各市町村での罹災証明の申請または発行件数を元に11月8日時点で総数9,128棟の建物被害が報告されています。

建物ではこういった被害が多かったのでしょうか？

建物被害のほとんどは壁が落ちる、瓦が落ちる、ヒビが入るなどの一部損壊が圧倒的に多く発生しています。別府市・由布市では全壊・半壊・一部損壊と大きな被害がみられます。

被害状況については県のホームページで公開しています。本来速報という形で、1週間程度で打ち切りますが、大きな災害の場合その後の被害の拡大もありますので、情報の把握と公開に努めています。

建物被害（住家8,006棟）

全壊（9棟）

大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市
1	4	0	0	0	0	0	1	0
杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町
0	1	0	1	0	0	0	1	0

半壊（214棟）

大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市
1	69	1	0	0	0	0	6	0
杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町
0	0	0	125	0	0	0	11	1

一部損壊（7,783棟）

大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市
91	4,894	19	90	3	0	10	145	0
杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町
2	20	44	2,234	0	0	19	199	13

※その他非住家（1,122棟）

県内に被害を及ぼした地震

発生日月日	地震発生地域	県内の被害の概要
1956年9月4日（慶長元） 慶長豊後地震	別府湾 M=7.0±1/4	高崎山が崩壊。湯布院、日出、佐賀関で山崩れ。府内（大分）、佐賀関で家屋倒れ。津波（4m）により大分付近の村里はすべて流れる。
1707年10月28日（宝永4） 宝永地震	五畿七道 M=8.4	我が国最大級の地震の1つ。県内で大分、杵築、鶴崎、佐伯で震度5～6であった。津波が別府湾、臼杵湾、佐伯湾に襲った。
1854年12月24日（安政元） 安政南海地震	畿内、東海、東山、北陸、 南海、山陰、山陽道 M=8.4	前日発生した安政東海地震の32時間後に発生した。県内では、別府で震度5～6であった。府内藩で家潰4,546軒、死者18人、臼杵藩で家潰500軒。津波は佐伯で2m。
1946年12月21日（昭和21） 南海地震	東海道沖 M=8.0	被害は西日本の太平洋側、瀬戸内に及んだ。津波も発生し、房総半島から九州沿岸を襲った。県内では震度3～5、津波は約1mであった。被害は死者4、負傷10、建物倒壊36、半壊91、道路の破損8。
1975年4月21日（昭和50） 大分県中部地震	大分県中部 M=6.4	湯布院町扇山、庄内町内山付近を震源。地震前には山鳴り、地震時には発光現象がみられた。震度は湯布院で5、大分4、日田、津久見3であった。被害の区域は庄内町、九重町、湯布院町、直入町と狭かったが、家屋の被害はひどく、庄内町丸山、九重町寺床ではほとんどの家屋が全壊または半壊であった（大分県災異誌等による）。

県内の被害金額はどのくらいでしょうか？

県内の被害金額については、発生後の5月時点で把握できた被害が概算で95億円（高速道路被害、観光被害は含まず）。今後、災害査定が行われ実際の被害金額が分かります。

過去にこれほど大きな被害をもたらした地震はあるのでしょうか？

記憶に新しいところでは、1975年の「大分県中部地震」です。湯布院町扇山、庄内町内山付近を震源とした地震が発生し、家屋を中心に被害が発生しました。

当時の建築基準を満たしていた九重レークサイドホテルの一階部分が潰れた写真は覚えている方も多いのではないのでしょうか。

また、この地震を機に県下各地で防災訓練をはじめると、大分県の防災対応の転換点になった災害といえます。

過去、特に被害を及ぼした地震の震源は、伊予灘、別府湾、豊後水道、日向灘、南海道沖、また臼杵・八代構造線、中央構造線及び別府・島原地帯の活断層が分布する領域です。

大分県でも過去最大の地震といわれている1707年の「宝永地震（M8.4）」で



倒壊した九重レークサイドホテル（湯布院町）

は、佐伯市米水津の養福寺で11・5mの津波が到達したとされる記録が残っています。

大分県の防災における取り組みについて教えてください。

大分県では東日本大震災を受けて、平成25年に津波被害が想定される3つの震源に関する被害想定調査を行いました。

- ①南海トラフの巨大地震
- ②別府湾の地震
- ③周防灘断層主部

その中で、今後30年以内に70%、50年以内に90%の確率で発生が予測されている南

海トラフの巨大地震を近々の課題として防災・減災対策を進めています。

防災には二つ大きな枠組みがありまして、ひとつは「地域防災力の向上」、そして「行政の即応体制の強化」です。防災では「自助・共助・公助」という考え方があり、「共助」が地域防災力であり、「公助」が大規模災害を想定した人的・物的な支援体制・運用体制を整える行政の役割になります。そして防災・減災対策においては自分の命は自分で守る「自助」が大切とされています。「自助」を向上させるには、何より県民の方々に防災・減災意識を高めてもらうことが大切です。

防災・減災意識の啓発には2本の柱があります。

自主防災力の強化

防災士の養成

まず自主防災力の強化では「防災士」の養成に力を入れています。自主防災活動には地域の防災のリーダーとなる人材が必要です。大分県では平成24年から防災士を養成する取り組みを県・市町村と協力して行っています。平成27年度末時点で県内に7,592名。これは全国で2番目。人口当たりですと全国で最も多い数となっています。もちろん数が多いだけではダメです

ので、スキルアップの研修や、防災士の方々のネットワークを構築する事業を行っています。

防災アドバイザー制度

また、「防災アドバイザー」という制度に取り組んでおり、防災士や気象予報士の方々を講師として、年間100回ほど自治会や町内会、校区の集いに派遣をしています。内容的には講話から家具の固定方法などの実技指導、地域の防災訓練のお手伝いなど、要望に応じて行っているところです。

これらの活動を通じて、自主防災組織の意識・能力向上を図っています。

防災行動力の強化

防災グッズフェア

防災行動力の強化ですが、9月の防災週間にあわせて、防災グッズのフェアを行っています。県内の量販店(56店舗)と協定を結んでいまして、期間中に防災グッズコーナーを設けるなど、防災に関心を持ってもらうための取り組みをしています。協定を結んでいる量販店とは、災害時の物資の支援協定を結んでいます。今回の熊本地震



地震体験車「ユレルンダー」

では地震後から雨が予想され、ビニールシートの備蓄が足りないということがありました。行政の備蓄にも限界がありますので、協定を結ぶ流通業者の在庫を活用できるようにしています。

県民防災アクションデー

6月と11月に県民防災アクションデーとして県下一斉避難行動訓練を実施しています。県下一斉にサイレンを鳴らし、個人や地域で避難行動を考えていただく訓練を行っています。

地震体験車「ユレルンダー」

新しい取り組みとしては、地震体験車「ユレルンダー」を県下各地の消防署を通じて、小学校、中学校、イベント等に派遣しています。実際の地震の揺れ(9種類)を体験することで、災害時の行動について学べるようにしています。

災害時の情報発信はどのようにしていきますか？

「県民安全・安心メール」

これは是非、県民の皆様にお願ひしたい

のですが。大分県では大雨や洪水などの気象警報や津波警報・注意報、避難勧告・指示といった防災情報等を、携帯電話やパソコンへ電子メールでお知らせしています。登録料・情報料は無料です。迅速に避難行動をとるためには、災害時の詳細な情報を手に入れることが大切です。是非、活用してください。

登録方法

みんなで登録！ みんなで防災！

- 1 空メールを送信**
宛先: e@bousai-oita.jp
件名: e@bousai-oita.jp
に送信して下さい。
※タイトル、本文は不要です。
- 2 登録用サイトへアクセス**
送信者: m@bousai-oita.jp
件名: 安全・安心メール 登録
こちらは県民安全・安心メールです。
下記のURLへアクセスして登録してください。
http://www.bousai-oita.jp/user/mt...
インターネットに接続
- 3 利用規約等の確認**
以下をご確認ください。
登録ボタンを押してください。
利用規約
個人情報について
[登録]
- 4 情報を知りたい地域を選択**
県民安全・安心メール
情報を知りたい地域を選択してください。
※複数選択可
 大分県全域
 大分市
 別府市
:
 玖珠町
[選択]
- 5 必須情報の登録完了!**
県民安全・安心メールへの登録が完了しました。
配信される情報は以下の通りです。
登録内容を変更するときは、変更ボタンを押してください。
[変更]
配信市町村の設定
 市
 町
:
 玖珠町
①災害警報
発表だけ受け取る
②注意情報(必須)
大分県中部、西部に震度3以上
③津波警報・注意報(必須)
大分県津戸内高沿岸に発表・解除された時
- 6 追加する任意情報を選択**
あなたの現在の登録内容は以下の通りです。
登録内容を変更される場合は、該当するタイトルをクリックしてください。
配信市町村の設定
 市
 町
:
 玖珠町
①災害警報
発表だけ受け取る
②注意情報(必須)
大分県中部、西部に震度3以上
③津波警報・注意報(必須)
大分県津戸内高沿岸に発表・解除された時

※迷惑メール対策を既定されている方は、「bousai-oita.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定してください。
※利用環境(ネットワーク状態・電波状態)によっては、メールの受信に遅延が生じたり、受信ができない場合があります。
※一部の携帯端末については、登録用サイトへアクセス出来ない場合があります。
※登録を変更・解除される場合はe@bousai-oita.jpに空メールを送信してください。

お問い合わせ先 大分県 生活環境部 防災対策室 ☎097-506-3155 県内の防災情報についてはこちら ▶ おおいた防災ポータル 検索

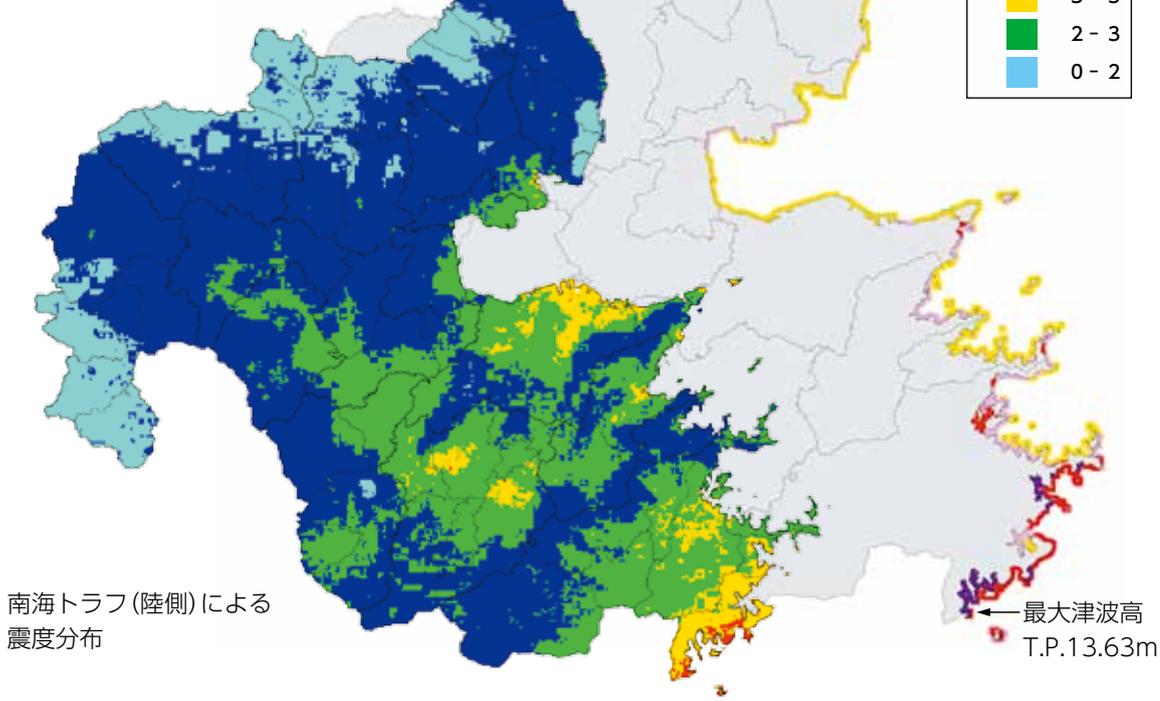
「県民安全・安心メール」の登録には
まず e@bousai-oita.jp に空メールを送信



南海トラフ (Case11) による
沿岸部の最大津波高分布

津波高例

単位：T.P.m



震度階



南海トラフ (陸側) による
震度分布

【参考】市町村別最大震度一覧表

市町村	南海トラフ	別府湾	周防灘
大分市	6強	7	5強
別府市	5強	7	5弱
中津市	5弱	5強	6弱
日田市	5強	5弱	5弱
佐伯市	6強	5弱	4
臼杵市	6弱	6弱	4
津久見市	5強	5強	4
竹田市	6弱	6弱	4
豊後高田市	5弱	5強	6強
杵築市	6弱	7	5強
宇佐市	5強	6強	6弱
豊後大野市	6強	6弱	5弱
由布市	5強	7	5弱
国東市	5強	6弱	6弱
姫島村	5弱	4	5強
日出町	5強	7	5弱
九重町	5強	6強	4
玖珠町	5強	6強	5弱

平成25年に行われた被害想定調査では、最大クラスのマグニチュード9の地震が、被害が大きくなる冬の夕方時間帯で発生した場合、人的被害では死者数が約2万2,000人。建物被害については、全壊や焼失が約3万棟と予測されています。震度については大分市、佐伯市、豊後大野市で震度6強、その他県内でも震度5弱～6弱の揺れが予測されています。また県内における最大の津波の高さは13.63m。1mの津波の最短到達時間は26分となっています。

しかし同時に、早期避難率が高い場合には、死者数が約700人にまで減少する想定

南海トラフの巨大地震の被害予測について教えてください。

一番被害が大きい時間帯の冬の18時の場合
(南海トラフの巨大地震)

死者数…21,923人
 負傷者…6,325人
 通勤・通学者のうち、帰宅困難者数…70,230人
 全壊・消失…30,095棟
 半壊…30,652棟
 断水の影響(地震直後)…約37万4千人
 停電する世帯…約4万3千世帯
 経済被害額…1兆7千億円

にもなっています。想定は想定として、なにより被害を最小限に抑えることが重要です。被害を抑えるためには、地震・津波が発生した際に、地域の皆さんが迅速かつ的確な避難行動を行う必要があります。自主防災

組織や自治会ごとに、それぞれの地域特性を反映させた避難行動計画をあらかじめ作成し、これに沿った避難訓練等の実践、検証、計画の見直しを繰り返し行うことが何よりも大切です。

現在、県内では防災に関する研修を含む何らかの取り組みを、自主防災組織や自治会の約54%が行っています。これをより高くするために、その中心となるのが、地域の防災リーダーである防災士になるわけです。

大分県では毎年、各振興局単位の県内7箇所（大分市は除く）で防災士の試験を行っています。各市町村により自治会からの推薦が必要など、要件が異なりますが、興味のある方は最寄りの市町村にお問い合わせいただきたいと思えます。

おわりに

大事なことは、災害が起こったときどうすればいいのか家族の中や地域で日頃から話し合っていたことです。そして訓練等で繰り返し避難路や危険箇所の確認をお願いしたい。それが減災の第一歩と考えます。

4月の地震では、まだまだ準備しなければいけない部分が浮き彫りになりました。次の災害に備えるの取り組みを共に進めていきましょう。

地震発生！ その時あなたは どうする？

屋内にいた場合

家の中

- 「すぐに物が落ちてこない・倒れてこない・移動しない」場所に移動し、姿勢を低くして身体や頭を守る。（テーブルの下に隠れるなど）

<揺れが収まってから>

- 外へ逃げる時は、落下物に注意を。
- 裸足で歩き回らない。
- 乳幼児や病人、お年寄りなど災害弱者の安全確保を。



デパートやスーパー

- 買い物カゴなどで頭を保護、陳列棚や大型商品から離れる。柱や壁際に身を寄せ係員の指示を聞く。

<揺れが収まってから>

- 火災が発生したら煙とは逆の非常口へ



劇場・映画館

- 広い空間は天井が落下する危険性がある。席の間などに身を寄せる

<揺れが収まってから>

- あわてて非常口に殺到しない。将棋倒しなどの二次災害を避けよう。



集合住宅

- エレベーターの中で地震にあった時は、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。

<揺れが収まってから>

- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない



屋外にいた場合

路上

- 落下物から身を守る。カバンなどで頭を守りながら、広い場所へ避難。
- ブロックや自販機などには近づかない。
- 新しいビルは耐震性があるので、ビル内に避難するのもよい。

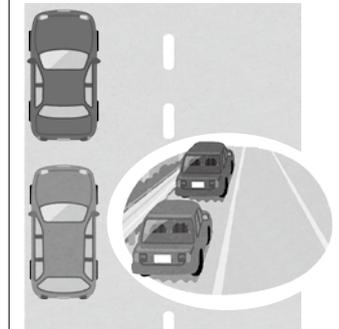


自動車の運転中

- ハザードランプを点灯して徐々に減速、交差点を避けて左側に寄せてエンジンを停止し待機。

<揺れが収まってから>

- ラジオで地震情報を聞く
- 避難するときは鍵はつけたまま、ドアロックをせず、連絡先メモを残し、貴重品や車検証を持ってから逃げる

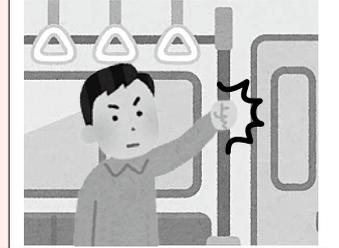


電車の中

- 急停車することがあるので、つり革や手すりにしっかりとつかまる。

<揺れが収まってから>

- 指示がないかぎりは不用意に車外に出ない。



海岸付近

- すみやかに高台や近隣の高いビルなどの避難場所へ避難する
- 注意報や警報が解除されるまで、絶対に海岸には近づかない。



大分県防災対策室のホームページでは様々な防災・減災対策の情報を公開していますのでご活用下さい。

【おおいた防災ポータル】で検索
<http://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/>

災害時の健康を守る! モバイル・ファーマシー

モバイル・ファーマシー（MP）は東日本大震災を経験した「宮城県薬剤師会」が、全国に先駆けて開発・導入しました。

現在、全国で同様の車両は5台整備されており、大分県でも「大分県薬剤師会」が平成26年に導入しました。



モバイル・ファーマシーとは

モバイル・ファーマシーは薬局の機能を備えた災害対策用の医療品供給車両です。大規模な災害によって薬局の機能が停止したとき、医薬品が提供できない被災地にすばやく駆け付け、医師の処方薬を提供します。

東日本大震災を教訓に

東日本大震災では、津波で多くの薬局が流され、医療品の供給が絶たれました。全国から薬剤師の派遣や薬の支援が行われましたが、薬剤の調合に必要な機器がなく、苦労した経験からMPが考案されました。

災害時の強い味方

MPには、通常の薬局にある機能が備えられています。また、発電機やソーラーパネル、給水タンク等、被災地において自立的に活動ができるよう考えられています。活動の長期化にも対応できるよう、ベッドやトイレ、シャワーまで備えています。

「熊本地震」で活躍！

「大分県薬剤師会」が導入したMPは、「熊本地震」で初出動しました。地震が発生した翌日の15日には熊本県益城町に到着。現地で活動を開始していた災害派遣医療チーム（DMAT）と連携し、医療品の調剤・供給・服薬指導等の活動を行いました。16日未明に発生した2回目の地震では、大分県の薬剤師2名がケガを負うなど、厳しい環境の中でもその使命を果たし、被災地医療に貢献しました。今後、大分県で発生が予想される大規模災害での活躍が期待されています。



おくすり手帳があなたを守る!!

大規模災害によって医療インフラが大きな被害を受けたとき、薬の履歴などが分かる「おくすり手帳」はスムーズに治療を受け、お薬をもらうために非常に重要です。いつでも持ち出せるよう準備しておきましょう。

取材協力：公益社団法人 大分県薬剤師会



新年のあいさつ

組合長理事

阿部 順治

明けましておめでとうございます。
組合員の皆様には、お健やかに初春をお迎えることと謹んでお慶び申し上げます。

また、旧年中は農業共済事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年を振り返りますと、梅雨明けからの少雨に悩まされ、一方で台風は相次いで発生しました。そしてなにより「熊本地震」という未曾有の災害を経験し、住宅等を中心に甚大な被害に見舞われました。

NOSAIでは農業共済災害対策本部を設置し、一刻も早く共済金をお届けするため、役員が一体となり、被害状況の把握、適正な損害評価に取り組み、年内の共

済金支払いをほぼ完了したところでございます。改めて被災された組合員の皆様、ご家族の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、農政に目を向けますと、NOSAIと大きな関わりをもつ収入保険制度の導入に向けての検討が着々と進んでおります。政府・与党では本年での法改正に向けて準備を進めるなど、情勢は急激に変化しております。

さらに、収入保険導入と併せて農業共済制度の抜本的な改正が行われようとしています。いずれにしても、頻発する自然災害の中、農業経営を支えるセーフティネットとしての農業共済制度の役割は一層重要性を増すものと考えております。

今後も、組合員皆様の負託にこたえるべく、変化に即応し、法令遵守に基づく適正な事業運営と、より一層の事業推進に努めて参ります。

最後になりましたが、組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつと致します。



謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

組合長理事	阿部 順治
副組合長理事	大塚 惟敬
理事	平岡 寛二
理事	甲斐 善馬
理事	岩本 龍年
理事	高瀬 義徳
理事	森 宗一
理事	佐藤 勇夫
理事	柳井 正二
理事	山田 定男
理事	武藤 英敏
理事	長野 幸生
理事	三上 忠治
理事	上野 勝美
理事	宮川 竹則
代表監事	江藤 正隆
監事	佐藤 茂
監事	小野 範義
監事	宇都宮 巧
職員一同	

県内児童養護施設等へ

新米1トンを寄贈

NOSA I おおいたでは大分県産新米1トンを、大分県社会福祉協議会善意銀行を通じて、大分県児童養護施設協議会へ寄贈しました。

この取り組みは、豊かな実りへの感謝と地域社会への感謝の思いを込めて「感謝米」と名付けて、役職員より寄贈しています。平成11年に社会貢献のひとつとして始めて以来、平成28年で18回目となりました。



感謝米贈呈式：阿部順治組長（左）と県社会福祉協議会の高橋勉会長。

11月15日に大分県社会福祉協議会にて「感謝米」の贈呈式を行いました。阿部順治組長理事は「今年もお届けすることができてうれしく思います」と挨拶しました。高橋勉会長常務理事より「県内の農家の方が育ててくださったお米を子どもたちはとても喜んで食べています」とお礼の言葉をいただきました。

寄贈した新米はNOSA I おおいた職員が県内13施設へお届けしました。



光の園（別府市荘園）へお届けした時の様子。右が施設長の松永忠さん。

28年産水稲

共済金約1億1,700万円
12月22日に支払い

被害の概況

田植えは順調に進みましたが、大雨により水管理ができずジャンボタニシによる被害が地域的に発生しました。7月の日照不足により、分けつが緩慢となり莖数はやや少なくなりました。梅雨明けから9月上旬まで続いた高温・多照により天水やため池を利用する耕地で干害が発生しています。9月中旬からの断続的な降雨により、「ひとめぼれ」を刈遅れた耕地で倒伏と穂発芽を発生させ、登熟期の「ヒノヒカリ」は登熟不良となった耕地もありました。

獣害による被害面積は、前年より減少しましたが、収穫皆無となった耕地も多く、依然として獣害が被害の大きな要因となっています。

支払い見込み共済金

(支所別の内訳)

東部支所管内 約1,200万円
中西部支所管内 約2,100万円
南部支所管内 約5,100万円
北部支所管内 約3,200万円
(平成28年12月2日現在)

28年産麦

共済金約1億5,700万円
12月22日に支払い

被害の概況

平成28年産麦は、播種期の断続的な降雨で発芽不良となった耕地が発生しました。また、11月中旬からの温暖傾向による生育過剰と、2月の日照不足で穂になりにくい弱勢莖が多発しました。出穂後の高温多雨及び日照不足は、根にかかるストレスが大きく、粒重は軽く厚みも薄く、減収や品質低下となる被害が県下全域に発生しました。

支払い見込み共済金

1億5,700万円のうち、引受の1筆方式については10月に約206万円(58戸)をお支払しました。災害収入方式は農水省の認定後お支払します。

(支所別の内訳)

東部支所管内 約1,700万円
中西部支所管内 約900万円
南部支所管内 約1,100万円
北部支所管内 約1億1,700万円
(平成28年12月2日現在)

地震などによる損害は NOSAIの「総合共済」加入で補償！



NOSAIの建物共済には **火災共済** と **総合共済** の2種類があります。

地震・津波・台風（風水害）・雪などの自然災害による事故は「総合共済」に加入していないと補償が受けられません。思わぬ自然災害で建物が被害を受ける前に、備えを万全にしておきましょう。

建物共済の種類と対象となる主な事故

火災共済（加入限度額 6,000万円）

火災、落雷、破裂・爆発、建物外部からの物体の落下等、給排水設備の事故による水漏れ（蛇口の締忘れ、老朽化は除く）、盗難によるき損・汚損。

総合共済（加入限度額 2,000万円）

火災共済対象事故に加えて、右記の自然災害が対象となります。



風水害・雪害等

- 地震等を除く自然災害では、1万円または再取得価額の5%の損害から共済金の支払対象になります。



地震・津波・噴火

共済金額の30%を限度に

- 建物は再取得価額の5%以上の損害から、家具類は70%以上の損害から共済金支払対象になります。
- 共済金額の30%が支払限度となります。

NOSAI制度70周年 キャッチフレーズを大募集！

趣旨
NOSAI（農業共済）制度は、平成29年12月に70周年を迎えます。国の農業災害対策の基幹として、地震や台風、豪雨、豪雪等の自然災害による損失の補填と損害の未然防止に努め、農業経営の安定と農業生産力の発展に寄与してきました。制度70周年を機に、農政改革等の動きに適切に対応して制度機能の充実を図り、農業・農村の展望を拓き、農家はもちろん国民全体に支持されるよう全国の組織を挙げて取り組みます。

制度70周年を迎え、農業・農村の将来に向けて一層の機能発揮を目指すNOSAIを広くアピールするキャッチフレーズを公募します。

応募要領

募集内容

NOSAI制度の重要性と新たな時代に適切に対応して役割を果たしていく姿勢がイメージでき、農家や広く国民が共感できるフレーズで、未発表かつ自作した作品。

募集締切

平成29年1月31日(火)
※郵送の場合当日消印有効

応募方法

- 所定の応募用紙を使用し、郵便、ファックス、電子メール等にて。
- 1人で複数の応募も可能。ただし、応募用紙は1枚に1作品とします。

賞金等

- 最優秀作品1点：賞金10万円
 - 優秀作品 数点：賞金3万円
 - 選外賞：抽選により図書カード
- ※なお、同一の作品が応募され、入賞した場合にはその中から抽選。

応募用紙・その他詳細については、NOSAIのホームページをご覧ください。

http://nosai.or.jp/nosai_kasou/70syunen_bosyu.html

診療所だより 風邪の蔓延防止に鼻腔内投与型ワクチン

子牛が風邪をひきやすい時期になってきました。ウイルスによる風邪の蔓延防止対策には、消毒剤の噴霧やワクチン接種等様々な対策があります。

風邪対策で使ってきた5、6種類のウイルスに対するワクチンは、注射をしてから効果が出るまでに一ヶ月程かかります。そこで今回は、新しいワクチン「TSV-2」についてご紹介します。

「TSV-2」とは？

このワクチンは、接種後2、3日で効果が表れる「即効性」が一番の利点です。鼻腔内に直接入れることで、鼻や喉の粘膜の防御力が早期に高まります。

「牛伝染性鼻気管支炎ウイルス」と「牛パラインフルエンザ3型ウイルス」の2種類の抗原しか入っていませんが、多頭飼育の農場では、子牛の風邪の蔓延防止や重症化防止を目的とした注射のストレスがないとい

う利点もあります。寒い時期になると風邪が蔓延する状況に悩まれている方は、このようなワクチンもありますので試してみたいかどうかでしょうか。

飼養・衛生管理も

お忘れなく

子牛の風邪の予防にはワクチンも有効ですが、初乳やミルクを十分に飲ませることや、牛房についてはワラ等を多めに敷いて子牛を暖かくすることが最も重要となります。

風邪の予防・対策についてのご相談も受け付けておりますので、家畜診療所にご連絡ください。



中西部支所家畜診療所
獣医師 大越 弘人

安全安心 地域づくり

「ATMで還付金の手続き」は詐欺

ATMの利用限度額を引下げよう

還付金詐欺って？

市役所などの公的機関を名乗る者から電話が掛かり、「医療費の還付金（払い戻し）があるのでATMに行ってください」と説明し、電話越しにATMの操作を行わせ、犯人の口座への振込を行わせる詐欺を還付金詐欺と言います。

県内では今年に入り46件の還付金詐欺が発生。被害額は約3,400万円にのぼっています（11月15日現在）。昨年比べて10件ほど増加しています。

犯人の手口

犯人は被害者を焦らせ、警備員のないATMに誘導します。還付金詐欺の被害者は、自宅で電話を取る65歳以上の女性です。そして、多くの方がATMの操作に慣れていません。犯人は「取扱番号」などと偽って、被害者に犯人の口座への振込額を入力させます。そのため49万円や99万円など、ATMによる1日の取引限度額ぎりぎりの被害が発生しています。

利用限度額を引下げよう

高額の振り込みを行うことがない方は、ATMによる1日あたりの利用限度額を低く設定しましょう。大分銀行やJバンク大分では口座をお持ちの

支店窓口で千円単位の引下げができません（銀行によりATMでも設定可能）。高齢のご両親がいるご家庭では、息子さん娘さんが設定してあげてください。「ATMで還付金」は100%詐欺です。気を付けましょう。

- 還付の手続きの期限は今日までなので、急いでください。
- 期限を過ぎましたが、本日中なら間に合いますよ。
- 銀行窓口は入っているので、近くのスーパーのATMへ。（警備員がいないため）
- ATMについたら操作方法を教えるので電話してください。



大分県警察本部
生活安全部生活安全企画課
安全・安心まちづくり推進室
ごとうたけひこ
後藤武彦 室長



東部支所（杵築市）
かがわ はるき
香川 春紀さん（62）担当戸数6戸

地域を守りたい

本年度から共済部長と損害評価員を務めることになりました。以前は水稻を耕作していましたが、やめて3年になります。農機具を持っているので、今は身内の耕作を共同で行っています。

今の農業は価格の低迷や高齢化などにより年々農業者が減り、休耕田が増えていきます。そのような中で、台風や地震など予想も出来ない災害が全国的に発生しています。一生懸命に作った水稻などに被害が発生したときは、共済部長・損害評価員として役目を果たし、組合員を守りたいと考えています。

建物共済では、掛金が安いので、私の地区においては加入者が多く、高額加入も少なくありません。今後継続となるよう補償の充実を心がけています。



消防訓練で指揮をとる香川さん

私は現在、杵築市消防団長を務めています。団長として3年、地元消防団に入団してから40年が経ちます。火災をおこさせないよう啓蒙活動や訓練など、地域を守ることに、住民の生命、身体及び財産を守ることが念頭に日々活動しています。また、六百人の団員の安全確保や団の組織作りなどをしっかりやっていきたいと考えています。

今後共済部長として組合員を守り、消防団長として杵築市を守っていききたいと思っています。



中西部支所（玖珠郡九重町 飯田地区）
とくなが たかふみ
徳永 孝文さん（43）担当戸数22戸

土地を守り、集落を支えたい

最近、各地域で高齢化が問題となっていますが、私の集落でも例外なく高齢化が進んでいます。農業者では、40代の若手が私を含め3人だけとなりましたが、幸いにも、現在は耕作放棄地も無く、維持できています。

私自身、主食用米約9ヘクタールと約40アールの畑地で白ねぎを栽培しています。毎年、8月から10月に収穫期を迎え、1年で最も忙しい時期となります。家族の協力を得て乗り切っており、家族にはとても感謝しています。

休日には、車や機械を整備するのが好きで、1日中機械いじりをしていくこともあります。新しい農機具も導入したので、長く使えるように



トラクターの整備をする徳永さん

しっかり整備しようと思います。

飯田地区には、きれいに整備された良い農地が多く残されています。おかげで私たちも家族だけで現在の規模を経営できています。これから、残されたこの土地をしっかりと維持していかなければと責任を感じています。

将来的に、農業を辞めていく先輩たちから「あのわけえしに任せれば大丈夫」と言ってもらえるようなりたいですね。まだまだ規模拡大もしたいですし、集落でも頼られる存在になれるように頑張ります。

本

年度から共済部長と損害評価員を務めることになりました。

共

済部長を務めて2期目、4年目になります。



ぼうこうえん 膀胱炎

膀胱炎のタイプと治療

膀胱炎とは

膀胱炎は、腎臓でつくられた尿をためて排出する膀胱に炎症が起こる病気です。急性膀胱炎、慢性膀胱炎、間質性膀胱炎などのタイプがあります。



急性膀胱炎

膀胱に侵入した細菌が原因で起こり、その原因となる細菌の約8割が大腸菌です。若い女性や閉経後の女性に多い病気で、頻尿や残尿感、排尿の終わりにジーンとした痛みなどの症状が現れます。

治療方法

抗菌薬を飲むのが主流で、薬を飲めばほとんどの場合は治りますが、薬によつては症状が改善しないケースもあります。その場合には再受診して医師に相談しましょう。

慢性膀胱炎

男性に多くみられ、膀胱結石や尿道に長期間置かれたカテーテルなどの異物が原因で起こったり、薬や放射線治療が原因で起こることもあります。膀胱や尿道に異物があると、細菌が住み着き、膀胱炎が慢性化しやすくなります。症状は急性膀胱炎と似ていますが、薬や放射線治療が原因で起こるものは血尿を伴います。

治療方法

膀胱結石は残尿が原因で発生することがあるため、膀胱結石の治療とともに、残尿に対する治療も行います。カテーテルが原因の場合は、発熱などの症状が出たら抗菌薬で治療します。薬剤性は原因となる薬の使用をやめ、放射線性には高圧酸素療法が行われます。

間質性膀胱炎

原因ははっきりわかっていませんが、短時間に何度もトイレに行きたくなる激しい頻尿や尿がたまるにつれて痛みが進むなどの症状が現れます。また、残尿感があり、白血球が多く出るので尿が白くにごり、尿に綿状のものが混じります。

治療方法

症状を軽減させるために薬の使用や手術が行われます。

再発を予防する ためのポイント

- トイレでは前から後ろに向かつて拭く
- 性行為前はシャワーを浴び、後には早めに排尿する
- 尿もれ用パッドや生理用ナプキンほこまめに交換する
- 便秘に注意する（便が大腸に長くとどまると大腸菌が増えるため）
- 温水洗浄便座を使用する場合は、大腸菌が尿道に入らないよう尿道口もよく洗浄する



膀胱炎はタイプによっては自然治癒することもあります。再発を繰り返したり悪化したりする前に、気になる症状があったら、早めに専門医（泌尿器科）を受診しましょう。

日田医師会立 日田検診センター

保健師 渡辺 綾子

ちび よっちょん!



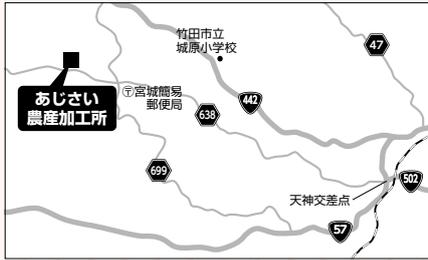
5個入り550円で販売(税抜き)

加工所では、商品だ。出荷する人気を毎日約900個、込みをはじめ、深夜0時から仕込みを始める。代表美さんは話す。表理事の渡部千

昔ながらの味を提供したい
竹田市刈小野にある「あじさい農産加工工所」では、手作り「酒まんじゅう」を製造販売している。「酒まんじゅう」は、昔から家庭でよく作られていたもので、「昔ながらの味を知ってもらいたい」という思いから始めた」と代表



「是非いらしてください」と従業員の皆さん



あじさい農産加工所
Tel 0974-66-3922
竹田市刈小野
※竹田市天神交差点から県道638号を久住方面に約10km
営業時間/販売 8:00~17:00
食事 要予約(10名以上から)
定休日/年中無休

季節に応じて「こんにやく」や「じり焼き」なども作っており、こちらもおすすめ。販売は加工所のほかに、竹田市内の道の駅やトキハ本店・わさだタウンなど県内各地でも販売している。また、隣接するレストラン「ふるさと薬膳あじか野」では、地元で採れた野菜や山菜などを使い、薬膳バイキングを提供。予約のみ受付している。渡部さんは、「従業員一丸となっておいしい手作りまんじゅうを作っています」と笑顔。季節に応じた商品もおすすめ



昔ながらの家庭の味を 「あじさい農産加工所」

笑顔があつまる 地域の憩いの場 「下恵良食育サロン」

元気になる場所
宇佐市院内町下恵良の国道387号線沿いにある、農家レストラン「下恵良食育サロン」。
同店は、NPO法人「Amari」が、「食」を通じて地域住民が交流する場を提供したいと開設し、今年3月に移



鶏ハムの赤ワインソース添え
栗のスープに、シラスの炊き込みご飯



テキパキと料理を作る衛藤めぐみさん
サロンに来ていたお客さんからは「ここにくるのが楽しみ」との声が



下恵良食育サロン
Tel 0978-42-6066
宇佐市院内町下恵良745-3
営業時間/予約にて営業
※火・土曜は料理教室のため不可
料 金/一食1,000~1,500円程度
※料理は応相談
予約人数/5名以上30名以内にて受付

転オープンした。地元宇佐市の食材を使った料理が楽しめるサロンだ。代表理事の衛藤めぐみさんは「ここに来てご飯を食べると元気になる、と言ってもらえるのがなにより嬉しいですね」と話す。食事には事前に予約が必要だが、その分細かな要望も受け付けており、一般的な定食メニューのほかにもビュッフェなど大人数での食事会にも対応できる。同店では火・土曜に地域の高齢者向けの料理教室を催し、地元の高校生への食育活動も積極的に行なっている。「まだまだ途上なので、今後はジビエ(狩猟肉)をはじめ、様々なものを取り入れて提供できるように活動中です」と衛藤さん。

クイズ&プレゼント

里の駅ふるさと市場R213（国東市安岐町）

「国東産オリーブの 無添加石鹸（桐箱付1個）」

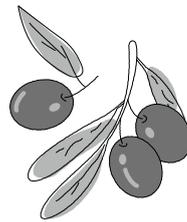


「肌の弱い方やお子様でも安心してお使いいただけますよ」と
スタッフの皆さん

正解者の中から抽選で
5名様にお贈りします。



国東産のオリーブオイルで
作った天然素材の貴重な完全
無添加石鹸です。



ハガキまたはEメール
に下記の①～⑤を記入
いただき、お申し込み
ください。当選者は発
送をもって発表にか
えさせていただきます。

- ①クイズの答え
- ②感想や1番よかった
記事、NOSAIへの
質問や要望
- ③郵便番号、住所
- ④氏名、年齢
- ⑤電話番号

- ハガキのお送り先
〒870-0822
大分県大分市大道町
3丁目1番1号
大分県農業共済組合
広報係
- Eメールのお送り先
kirari@nosai-oita.jp

Q.問題

NOSAIの建物共済には「火災共済」と地震・津波・台風（風
水害）・雪などの自然災害を対象に加えた「〇〇共済」の2
種類があります。何というのでしょうか？
（カタカナで記載してください）

□□□□共済

ヒント：10ページの上段を見てね！



スマホからも応募できます！

NOSAIおいた

検索

【応募の締め切り】

2017年1月31日(火)（消印有効）

【第13号(11月号)クイズの正解】 センヨウヒンシュ

応募総数 112 通のうち、正解者は 110 通でした。
抽選の結果、5名の方に「花と岬の贈り物・無添加
オイルで作った加工品3本セット」をお贈りしました。

日田市大鶴でチンゲン菜のハウス栽培を行う平川農園。
父親の秀一さんが栽培を始めて、33年目を迎え、「はじめは10ア
ルほどでした」という栽培面積は、現在67アールまで拡大している。
「いつか農業をしたいと思っていた」という正博さんは、5年前
に就農。小さいころから両親の手伝いをしてきたそうで、「慣れる
のは早かったです」とすぐに順応。秀一さんも「力仕事を任せられ
るのでとても助かっています」と頼りにしている。生産量も、正博
さんが就農してから3割ほど増えたという。

正博さんは、以前に営業職をしていた経験から、得意分野を活
かして自ら営業に回り、販路を拡大していった。

将来は栽培面積も1ヘクタールほどまで拡大したいと考えてい
る。また、同農園で若者に研修できる場を設け、チンゲン菜を広
めて生産グループを作りたいとの夢も持っている。

今月号の表紙



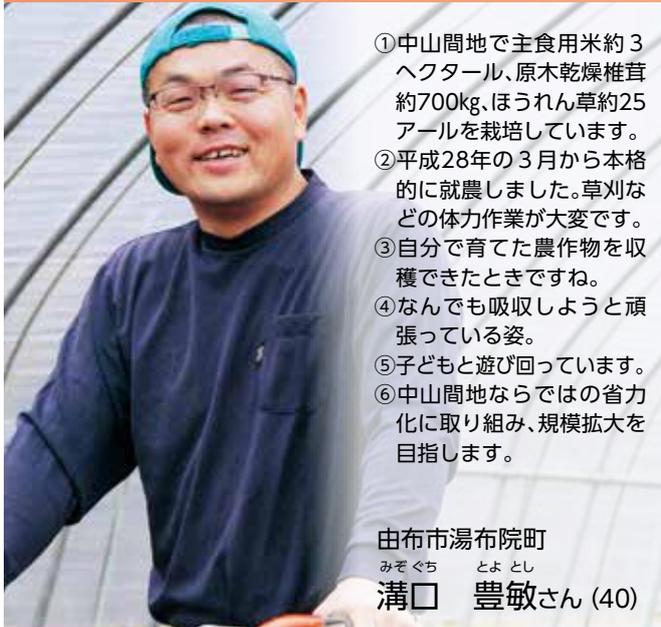
《日田市 平川さんファミリー》

- | | | | |
|-----|--------------|-----|----------|
| ・父 | 平川 秀一さん (65) | ・長女 | 綾ちゃん (6) |
| ・母 | 月子さん (59) | ・長男 | 瑛太くん (4) |
| ・本人 | 正博さん (35) | ・次男 | 武くん (1) |
| ・妻 | のり典子さん (36) | | |

きらい わけえし

がんばる若者を応援します!

- ①現在の仕事内容
- ②仕事で苦労したこと
- ③仕事で喜びを感じる点
- ④自分のチャームポイント
- ⑤休日の過ごし方
- ⑥10年後の自分は?



- ①中山間地で主食用米約3ヘクタール、原木乾燥椎茸約700kg、ほうれん草約25アールを栽培しています。
- ②平成28年の3月から本格的に就農しました。草刈などの体力作業が大変です。
- ③自分で育てた農作物を収穫できたときですね。
- ④なんでも吸収しようと頑張っている姿。
- ⑤子どもと遊び回っています。
- ⑥中山間地ならではの省力化に取り組み、規模拡大を目指します。

由布市湯布院町
みぞぐち とよ とし
溝口 豊敏さん (40)



- ①イチゴを20アール栽培しています。
- ②苗の管理や出荷の準備をしていますが、人手が欲しいところです。
- ③イチゴの苗の成長を見るたびに喜びを感じます。
- ④笑顔
- ⑤友達と飲み会、ドライブ。
- ⑥イチゴもそうですが、人間としても「成長」していきたい。

杵築市
ふじ わら みつ あき
藤原 光章さん (30)

伝えたい“ふるさとの味” チンゲン菜と 貝柱のクリーム煮



【材料】(1人前)

チンゲン菜	50g
冷凍貝柱(Sサイズ)	50g
きくらげ(もどしたもの)	少々
ハム	1枚
中華スープの素	2g
水	1/2カップ
牛乳	1/2カップ
ゴマ油	1g
塩・こしょう	適量
水とき片栗粉	適量

【作り方】

- ①貝柱、きくらげ、ハムを水とスープの素で煮る。
 - ②牛乳を入れ、塩・こしょうで味付けし、水とき片栗粉でとろみをつける。
 - ③ゆでたチンゲン菜を入れ、仕上げにゴマ油を加える。
- ※具材はおこのみで工夫してみてください。



レシピ提供 さとう ひろみ
竹田市荻町 佐藤 弘美さん
農業のかたわら、地域活動栄養士として活躍している。

NOSAIおおいた広報紙

「きらり」第14号 平成29年1月発行

大分県農業共済組合

本所：〒870-0822

大分県大分市大道町3丁目1番1号

TEL.097-544-8110 FAX.097-544-8242

URL <http://www.nosai-oita.jp/>

E-mail kirari@nosai-oita.jp

印刷：小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分市松原町2-1-6

TEL.097-558-3444

URL <http://www.ohp.co.jp/>



「日本では、子どもの6人に1人が相対的貧困状態」という話を聞いた。食糧に困っている人がいる一方で、品質に問題がない食品の廃棄は年間800万トンに上るといふ。余っている食べ物困っている人へ届ける「フードバンク」の取り組みが全国で広がっている。また、昨今では地域で子どもに食事を提供する「子ども食堂」の設立も増えている。大分市で「つる子ども食堂」を運営する大分県医療生協の山下藍さんは、「困難を抱える子どものための食堂というだけではなく、地域と子ども達が繋がる場にした」と活動しています。誰でも気軽に遊びにきてほしい」と話す。同食堂は毎月第4土曜日に中学生以下は0円で食事を提供している。当たり前だと思っていた「食」の問題を知り、あらためて「農業」の重要性や地域との繋がりの大切さを考えさせられた。

